

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1100	(H.26)No.	1100
-----------	------	-----------	------

事務事業名	市民農園運営・整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	303001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	農林水産業費	市民農園運営・整備事業
項	農業費	(小事業名)
目	農業振興費	市民農園運営・整備事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施策	2	自然環境
	小施策	1	自然環境の保全
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
遊休農地活用により農業に従事していない市民に農業・自然にふれあう安らぎの場を提供するとともに、行政・地元住民(農業者)とのネットワークづくりを推進する。
事業内容
田畑の適切な保全・管理による荒廃化の防止及び農業者不足に伴う定年後の就農者確保のため、市民農園の施設、周辺の管理及び土地の借上げ等市民農園の管理・運営を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために、適切な市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供する。	市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供する。
	<ul style="list-style-type: none"> 農園周辺管理委託料 475千円 農園賃借料 234千円 消耗品費 33千円 燃料費 19千円 手数料 38千円 	

H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供する。	市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供する。	市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供する。

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	
①直接事業費	799千円	952千円	952千円	952千円	952千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他(農林雑入)	794	952	952	952	952
一般財源	(0) 5	0	0	0	0	
人工数	職員	0.02人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
	臨時職員等	0.26人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 592千円	542千円	542千円	542千円	542千円	
①+②総事業費	(0千円) 1,391千円	1,494千円	1,494千円	1,494千円	1,494千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
未利用区画が発生している。	再募集や2区画目の利活用を利用者に呼びかける等、未利用区画の解消に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	農業体験や自然とのふれあいという目的は達成しているものの、市が管理していることから地域の住民等との交流が難しい状況である。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 第2次名張市農業マスタープラン
今後も市民が農業や自然にふれあう安らぎの場を提供する。	